

一般質問

令和5年度における市の組織体制について



名波和寛

問 私は、令和5年度における市の組織体制について、市長の考えをお伺いします。今年度は、柳澤市長の任期2期目の最後となる年度であり、目に見える形で実績が求められます。柳澤市長には、この1年自身の掲げた公約の実現に向けて邁進してもらいたいと思います。そのためにはこの1年、市の重要施策を担う部署に、能力の高い経験豊かな職員を配置する必要があるのではないのでしょうか。令和3年2月議会で渥美昌裕議員が一般質問で、市長2期目の公約について質問した際、市長は「やり切れていない事業などもあります。その原因をいま一度分析し、公約実現に向け、全力を尽くしてまいります。」と答弁しています。未だいくつかの公約が果たされていないと思いますが、あと10カ月足らずで、これが実現できるのか

答 令和5年度の人事異動にあたっては、人員確保が非常に厳しいなか、各部門の事業を計

画的に推進することで、市民サービスの向上と事務の効率化を図るための人員配置を行いました。特に「政策監」は、第2次総合計画の実現に向けて、市全体で政策や施策を「組織横断的」に展開するためのリーダーであり、各部課長と連携をとり幅広く業務を遂行するという考えでございます。したがって、重要施策の企画調整及び経営戦略などの事案により、関係する職員が中心となり推進していくこととなります。皆様のご支援をいただき、任期2期目の最後の年度になります。今年度の最後の御前崎市創生へ果敢に挑戦をテーマに、「活力」「魅力」「希望」「安心」を戦略の柱に、市民の皆様から寄せられた信頼と期待に応えるべく、全力で取り組んでいるところであります。



一般質問

これからの御前崎市の教育について
御前崎・白羽地区の幼稚園・保育園・ほぐも園の再編について



齋藤佳子

問 御前崎の子どもたちの課題と可能性は

答 地域の人々に愛され、大変明るく素直です。課題は主体的・自律的な力をつけることです。

問 子どもたちの命を守る防災については

答 防災マニュアルは、静岡県教育委員会が作成したマニュアルに基づいて全校で策定しています。コロナ禍によって自粛気味であった避難訓練などは、今後は各学校で開催される予定です。

問 保護者の負担軽減は

答 ご負担をかけているケースがあれば、現状にあわせて柔軟な対応が必要かと思えます。

問 支援や配慮が必要な児童・生徒への対応については

答 園や学校には、外国籍の子ども、特別な支援を必要とする子どもなど、さまざまな事情のある子

どもたちがおり、そのような子どもたちが過ごしやすい学級や学校こそ、誰もが安心して過ごすことができる学校です。1人1人の子どもをあらわれを見逃さず、迅速に対応できるように各学校において、指導体制を常に点検・再構築したいと考えています。

問 ヤングケアラーへの支援は

答 学校としては、ヤングケアラーだけではなくとどまらず、虐待や生活困窮など、学校を中心として、早期発見、早期解決に努めて関係機関と連携して取り組んでいきます。

問 海洋教育など御前崎の自然を体験する教育活動とその効果は

答 SNSやインターネットが普及した現代だからこそ、自然を生かした本物の経験を培い、これからの未来を生き抜くことができる力が育まれていると感じています。